

25 journal

society&business Tokyo25 journal



西多摩倶楽部が創立25周年

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

01年、中日ドラゴンズなどで活躍した谷沢健一氏の記念講演会を開催。02年には谷沢氏

東京野球連盟へ準加盟申請すると、練習を開始。99年2月に東京都野球連盟に正式加盟。9月には都クラブ

同倶楽部は西多摩地域の野球愛好者の要望に応え、1998年4月、加藤和夫代表、秋葉達也監督、加藤育男部長の指導体制で発足。理念の柱に「地域社会と協力し、子どもから大人までが野球を通じてコミュニケーションをはかり、健全な青少年の育成とさらなる野球の発展に尽くす」を据えた。

同倶楽部は西多摩地域の野球愛好者の要望に応え、1998年4月、加藤和夫代表、秋葉達也監督、加藤育男部長の指導体制で発足。理念の柱に「地域社会と協力し、子どもから大人までが野球を通じてコミュニケーションをはかり、健全な青少年の育成とさらなる野球の発展に尽くす」を据えた。

同倶楽部は西多摩地域の野球愛好者の要望に応え、1998年4月、加藤和夫代表、秋葉達也監督、加藤育男部長の指導体制で発足。理念の柱に「地域社会と協力し、子どもから大人までが野球を通じてコミュニケーションをはかり、健全な青少年の育成とさらなる野球の発展に尽くす」を据えた。

監督に谷沢氏や松岡氏

プロ選手3人輩出

社会人野球の西多摩倶楽部(加藤和夫部長、事務所・羽村市栄町3丁目3番3号)が今年で創立25周年を迎えた。青少年の育成と地域発展を理念に掲げ、西多摩の野球界をリードする同倶楽部は、全日本クラブ野球選手権大会などへの出場を果たし、プロ野球選手3人を輩出してきた。25年を節目に新たな飛躍を期す。

監督として迎えると、プロ野球チーム湘南シーレックスとオーブン戦。6月には都市対抗野球東京2次予選で明治安田生命から大金星を挙げた。同大会でクラブチームが企業チームから勝利を挙げたのは14年ぶりの快挙だった。

05年、東京都クラブ秋季大会決勝でWEN94を破り優勝。10月には話題の欽ちゃん球団、茨城ゴールデンゴールズとあき野市民球場で対戦。地元ファンを大いに喜ばせた。12月、谷沢監督の退任を受け、松岡氏が監督に就任した。

06年5月には都クラブ春季大会決勝で東京好球倶楽部を破り優勝。6月には南関東大会決勝で所沢グリーンベースボールクラブを撃破し優勝。初の全日本クラブ野球選手権出場を決めた。1回

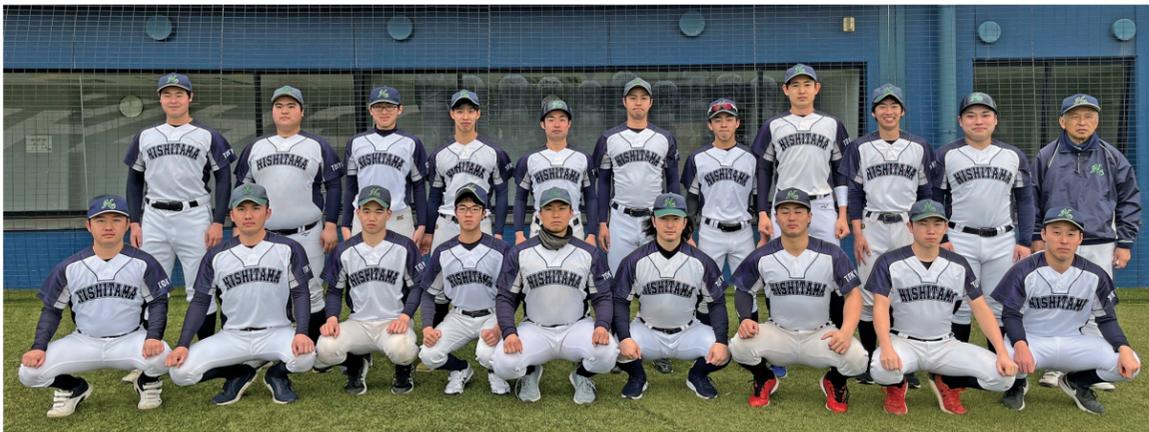
を招き、西多摩倶楽部主催の西多摩地区中学生対象野球教室を実施した。03年には当時ヤ

戦で水沢駒形野球倶楽部を破り、初陣を飾った。上昇気流に乗る倶楽部に11月、吉報が舞い込む。金森久朋投手が東北楽天ゴールデンイーグルスから育成ドラフト1順目で指名を受け、同倶楽部初のプロ野球選手が誕生した。

松岡監督の退任を受け、9年1月、香川正人氏が監督に就任。9月に都クラブ秋季大会決勝でREVENGE99を下し優勝。10、11月のJABA関東連盟クラブ選手権大会で4強となった。11月には柳川洋平投手(BCリーグ・福井)が福岡ソフトバンクホークスから育成ドラフト3順目で指名を受け、

10年には川口寛人内野手が読売ジャイアンツから育成ドラフト7順目で指名された。倶楽部や支援者らは相次ぐプロ野球選手誕生に湧いた。女子ではナックル姫の異名を持つ吉田えり投手らが在籍。その後プロの道を歩んだ。名將、香川監督が勇退し、16年1月に中村昌司監督が就任。コロナ禍の逆風でも若い力が育ち始めている。

西多摩野球界をけん引



25年の歴史を刻んだ西多摩倶楽部。選手たちは新たな飛躍を期す

目標は全日本クラブ野球選手権

2023年シーズンに向かう陣容は、コーチングスタッフ7人、選手は投手8人、捕手5人、内野手10人、外野手10人。何よりまとまりのあるチームで、23年のキャッチフレーズ「自分だけに負けな」の下、それぞれがやるべきことをやり、力を付ける中で、チーム力のアップを図る。

加藤部長、中村監督そして選手たちの最大の目標は第47回全日本クラブ野球選手権大会への出場。東京都予選は4月2日、大森グラウンドで東京好球倶楽部と緒戦を戦う。近年、クラブチームはプロ野球経験者が多くなり、レベルが高くなっている。それでも「投手力の底上げを図るなど指導陣と選手たちがやるべきことをしっかりとやらせたい」と中村監督。佐藤主将も「今年の全日本は出身地の新潟で開催されるので何としても出場したい」と意気込む。

加藤部長は「歴代の指導陣、選手たち、多くの皆さんに支えられた25周年を迎えられた。今後も健全な青少年の育成と野球の発展に尽くす中で、しっかりと結果を出し西多摩倶楽部の存在感を高めたい」と話す。

06年5月には都クラブ春季大会決勝で東京好球倶楽部を破り優勝。6月には南関東大会決勝で所沢グリーンベースボールクラブを撃破し優勝。初の全日本クラブ野球選手権出場を決めた。1回

戦で水沢駒形野球倶楽部を破り、初陣を飾った。上昇気流に乗る倶楽部に11月、吉報が舞い込む。金森久朋投手が東北楽天ゴールデンイーグルスから育成ドラフト1順目で指名を受け、同倶楽部初のプロ野球選手が誕生した。

10年には川口寛人内野手が読売ジャイアンツから育成ドラフト7順目で指名された。倶楽部や支援者らは相次ぐプロ野球選手誕生に湧いた。女子ではナックル姫の異名を持つ吉田えり投手らが在籍。その後プロの道を歩んだ。名將、香川監督が勇退し、16年1月に中村昌司監督が就任。コロナ禍の逆風でも若い力が育ち始めている。

西多摩倶楽部：賛助会員募集中
年会費 1口5000円
nishitama.staff@gmail.com
にご連絡ください。ご協力をお願いします。
選手たちの活躍は、西多摩倶楽部公式HP 公式Twitter 公式Instagramで随時配信しています。

職人技のネットワークで
快適な生活空間を造ります

総合建設業 東京都知事許可 第77829

須崎土建

〒198-0014 青梅市大門2-360
☎0428-31-1432 fax0428-31-5731

戸建住宅にお住まいの方 超高速インターネット光回線

ケーブルテレビは「テレビ」だけじゃない!

tnet光2.5G

最大通信速度 下り約2.5Gbps / 上り約1.25Gbps

初期設定 遠隔サポート 安心ネット出張訪問

0円!

最新情報

TCN 多摩ケーブルネットワーク 0428-32-1351